

**インフォテリア、AWS パートナープログラムにおける
AWS サービスデリバリーパートナーfor Amazon Aurora の認定を取得**

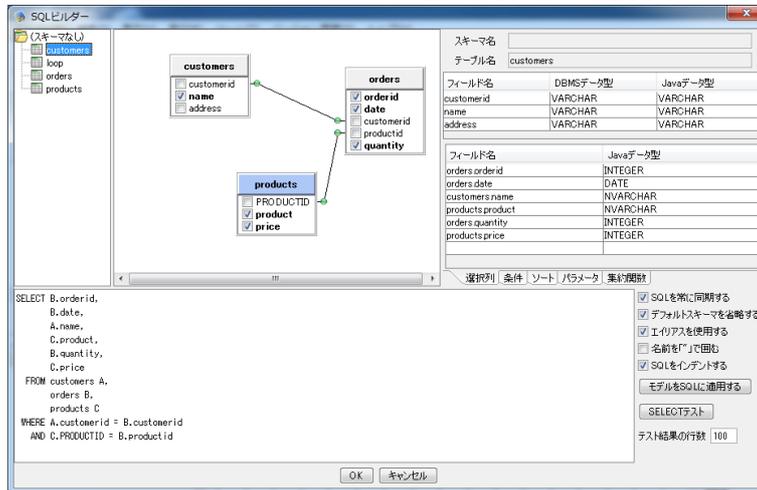
インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）は、本日、世界規模のクラウドサービスであるアマゾン ウェブ サービス（以下、AWS）が提供する Amazon Aurora に関する実績を認定する「AWS サービスデリバリーパートナー for Amazon Aurora」の認定を取得したことを発表します。

■「AWS サービスデリバリーパートナーfor Amazon Aurora」とは

AWS サービスデリバリーパートナーfor Amazon Aurora とは、AWS のパートナープログラムである AWS Partner Network（以下、APN）の認定パートナーの中で、特定の AWS サービス・製品による顧客事例を持ち、一定の実績があるパートナーが認定される「AWS サービスデリバリープログラム」のうち、Amazon Aurora に関する技術を持ったパートナーとして認定されるものです。インフォテリアは以前より、Amazon Aurora に対応した各種製品・ソリューションを提供している ISV パートナー等を認める Amazon Aurora Ready パートナーとして選定されており、既に様々なお客様における実績を持っていることを合わせて評価された結果、今回新たにスタートした「AWS サービスデリバリーパートナー for Amazon Aurora」に認定されたものです。

AWS サービスデリバリープログラムは、米国ラスベガスで11月28日から12月2日まで開催されているカンファレンス「AWS re:Invent」において発表されたもので、AWS の特定サービスや機能に関する専門能力を提供する APN パートナーを AWS のお客様が選定しやすくするものです。このプログラムの認定審査では、特定サービスごとの事例の技術レビューを行うため、お客様は実案件における当該サービスの経験を提供してくれるパートナーを確信をもって選定することができます。

<Amazon Aurora を含め、データベースを画面操作で連携する SQL Builder>



■今後の ASTERIA ビジネスの展開

インフォテリアでは、国内 EAI/ESB^{※1}ソフト市場で10年連続シェア No.1^{※2}を達成している ASTERIA シリーズにおいて、2010年9月の Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) コンポーネントの発売を皮切りに AWS サービスとの連携製品ランアップを強化してきました。2016年10月31日にリリースした「ASTERIA WARP 1610」においても「Amazon DynamoDB」との連携を実現する仕様を追加するなど、現在までに7種類の連携ツールをリリースし AWS サービスとの連携性や親和性を継続的に高めています。インフォテリアでは、幅広い業界から高い評価を獲得している同サービスとの連携製品・仕様の拡充を進めることで ASTERIA シリーズの導入を推進していきます。

<AWS サービスとの連携製品紹介サイト>

<https://www.infoteria.com/jp/warp/feature/option/amazon-web-services>

■「ASTERIA シリーズ」について（Web サイト <https://www.infoteria.com/jp/asteria>）

「ASTERIA シリーズ」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンプログラミングで連携できる ASTERIA WARP を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。



■「インフォテリア株式会社」について（Web サイト <https://www.infoteria.com/>）

1998 年に国内初の XML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 5,788 社（2016 年 9 月末現在）の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,138 件（2016 年 9 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

※1：企業データ連携のこと。EAI は、Enterprise Application Integration の略、ESB は、Enterprise Service Bus の略。

※2：出荷量ベース。出典は、テクノ・システム・リサーチ「2016 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.infoteria.com/jp/news/press/2016/11/30_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

インフォテリア株式会社 広報・IR 室 長沼史宏

TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: press@infoteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

インフォテリア株式会社 ASTERIA 事業本部 マーケティング部 製品担当：森一弥

TEL:03-5718-1250 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: pm@infoteria.com

インフォテリア、ASTERIA、Handbook はインフォテリア株式会社の登録商標です。
アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon Aurora、Amazon S3、Amazon DynamoDB、Powered by Amazon Web Services ロゴは米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

その他本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。